

## 平成 27 年度佐賀県緑化運動・育樹運動ポスターコンクール審査会講評

(全体について)

- ・どの作品も森林・樹木を大切にしようというメッセージがよく伝わってきました。細かい所まで丁寧に仕上げている作品が多かったです。
- ・自然の力強さをストレートに表現したもの、動物や地球、人間などとの関係を複雑な構成で表現したものなど幅広くあり、応募された方の熱意が感じられた。
- ・緑化や育樹に対しての表現にパワーを感じた。独創的な表現も見られた。

(知事賞について)

○小学生の部

- ・植樹をする時のワクワクする気持ちが表情からよく伝わってきました。画面いっぱいに人物が描かれていて力強さを感じました。
- ・大きく描かれた人物の表情が素直で愛らしく、また背景の赤に対して植物の緑が鮮やかで美しかった。
- ・木を植えることに元気を感じた。

○中学生の部

- ・上の枯れ葉が落ちている地面と下の逆さに映った青空と木の構図がとても工夫されていると感じました。
- ・人物の足元にひっそりと芽を出した植物が、水面に写る大木との対比によって強調されている。また、その芽を見守る人物の表情も想像させることによって作品に広がりを持たせている。
- ・小さな芽から大きな木へ育つイメージが想像できた。また、森の中の澄みきった水・空気を感じた。

○高校生の部

- ・大木の周りに苗木から成長していく姿を表したフィルムがとりまくように描かれていて、長い年月を感じさせるダイナミックな作品でした。フィルムが透明で後ろが透けて見えている所もよかったです。
- ・フィルムに写る植物が徐々に成長する姿が描かれており絵に時間の流れが表現されている。ダイナミックに描かれた大木は遠近によって彩度を変えてあり、高度な技術を持つ方と思われる。
- ・木が大きくなるまでに、ものすごい年月がかかることの表現がうまくできていた。